

(No.2) ワーク 1-1

動画の「外国人社員の活躍を競争力に導く6つのステップ」の後半3つのうち、**自社（支援先企業）の課題はどこにありますか？** 1つ選んでください。

6つのステップ	内容	成果イメージ
4 社内制度作り 「展開」から「深化」へ	制度がより国籍、性別、年代等、多様性に対して適応的になる。	全社の制度変更などプロセスイノベーション
5 組織力の向上 「深化」から「文化」へ	多様性に対してより適応的な組織文化になる。	
6 新たなビジネスの創造 「文化」から「創造」へ	新規事業や顧客創造等、多様性により新たな価値が創造される。	対顧客、社会に対するプロダクトイノベーション

- ①社内制度作り――「展開」から「深化」へ
 - ②組織力の向上――「深化」から「文化」へ
 - ③新しいビジネスの創造――「文化」から「創造」へ
- ⇒ _____

上記で回答した課題について、具体的な内容は何か。
できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

回答例 ※正解例ではありません

Q1で①を選んだ場合 社内制度作り——「展開」から「深化」へ

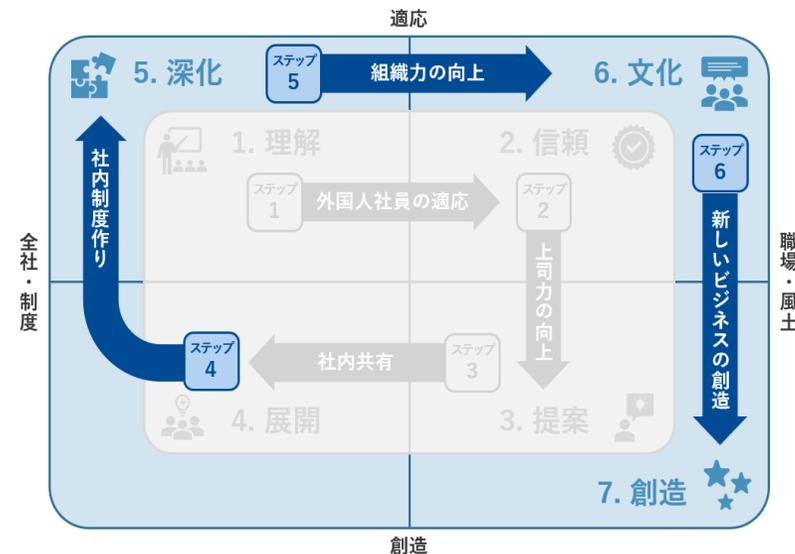
- ・ 自社制度について理解は進んできたが、その制度が多様性に対応したものになっていない、社員のニーズに沿っていない（マニュアルの多言語化、フレックスタイム制、リモートワークなど）

Q1で②を選んだ場合 組織力の向上——「深化」から「文化」へ

- ・ 様々な社員が働いており制度は追いついてきているが、「制度改革の理由の理解」が浸透しておらず、社内で多様性が自然なものになっていない。

Q1で③を選んだ場合 新しいビジネスの創造——「文化」から「創造」へ

- ・ 自社製品の海外展開を視野に外国人社員にプロジェクトを任せただものの、社内体制が追い付かず、実現に至っていない。
- ・ 外国人社員から、新しい商品・サービスについて提案を引き出すことができていない。



自社及び支援先企業の課題が思い浮かばなかった方は、

「07 自社(支援先企業)課題の明確化と成長への7段階②」の動画を再度視聴しましょう。

(No.2) ワーク 1-2

ワーク 1-1 で回答した課題について、**現状でアクションできそうなことは何ですか？**
できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

すでに日本語で対応できている社内の制度について、多言語対応をしたり、受け入れる日本人を対象に勉強会を実施するなど、多様性を受け入れることができる風土を作りましょう。

風土作りには、日本人社員・外国人社員双方の理解が肝要です。押し付けとなるような制度ではなく、理解を深めて受け入れられるような制度・風土作りを目指しましょう。

(No.2) ワーク 1-3

ワーク 1-1 で回答した課題について、今後に向けた課題には何がありますか？
できればご自身の考えをお手元のノートに書き出してみてください。

次のステップに進むにつれ、新たな課題が見えてきます。
短期的な成果だけでなく、長期的な成果が何かを考え、多様性を受け入れられる社内風土を作り、それが新しいビジネスに結びついていくようにしましょう。

単に制度を作っただけでは、社内風土としては根付きません。成長の7段階は、外国人社員だけでなく、共に働く日本人従業員にも大きなメリットがあることを認識し、競争力を高めていきましょう。